

## 2-6. 市民要望・意見、市民活動等の状況

平成17年3月に、「鎌倉市緑の基本計画」の改訂作業に伴って行われた現行の施策等に対する市民意見募集から、市民の緑に対するニーズ、意見等を踏まえ基本的な考え方に反映すると共に、平成17年4月1日号の「広報かまくら」で募集した台峯緑地の整備に対する意見を集約し、対象地に求められている市民の要望、意見を取り入れていくこととする。

### 1) 緑に対する市民の要望・意見

#### ● 保全について

- ・ 自然環境等の緑の保全になど強い姿勢で向うことが望まれている。
- ・ 残された谷戸の自然は、農地利用も含め里山として保全することが望まれている。
- ・ 保全の方針の見直しや開発規制についてなど保全施策の検討が求められている。

#### ● 整備について

- ・ NPO法人による維持管理、市民団体・ボランティアによる利用プログラムの提供など柔軟な施設の運営・維持管理が望まれている。
- ・ 環境に重きを置いた公園整備が望まれている。
- ・ 公園整備、運営、経費に関してトラスト基金等の設置活用などの意見が見られる。

#### ● 創造について

- ・ 多様な緑をつないでいく緑のネットワークの拡大と充足が求められており、そのネットワークの中での緑とのふれあいが求められている。

#### ● 啓発

- ・ 樹林管理等において市民団体やボランティアの参加が求められている。
- ・ 自然への関心を高めるため、情報発信の促進が望まれている。
- ・ 基金のための募金活動など、緑の保全などに向けた市民の積極的なかかわりの姿勢が見られる。

#### ● その他

- ・ 地区レベルでの住民参加と一方での市民負担への懸念など緑行政への多面的な意識があることが伺われる。

#### ① 保全について

- (1) 保全のための強い姿勢
- (2) (特定地区をあげての保全を訴えるものは少ないが、) 樹林地、農地、海浜まで、自然的土地利用の現状の保全
- (3) 農地を含む里山として、谷戸の保全
- (4) 環境や防災、また学習の場から、保全の方針の見直し
- (5) 法令や条例による開発規制の検討
- (6) 防災に配慮した緑地の林縁の管理

#### ② 整備について

- (1) 新規公園の設置
- (2) 公園の再整備または再編
- (3) 公園の使用方法
- (4) 公園管理方法に対するNPO法人の参入
- (5) 環境を重視した公園整備
- (6) 仏法寺・五合柗の史跡公園の設置
- (7) 公園整備、運営、経費に関してのトラスト基金等の設置

#### ③ 創造について

- (1) 市街地は、庭、屋敷林、壁面緑化、駐車場、生垣とあらゆる場所での緑化
- (2) 巨木の管理を緑の基本計画に入れる
- (3) 維持管理に配慮した緑化方針
- (4) 緑のネットワーク拡充のため、新しいハイキングコースの整備や利活用の提案
- (5) 街路樹の再整備
- (6) 親水性や環境に配慮した河川の整備

#### ④ 啓発について

- (1) 樹林管理、やぐらの調査、教育の場の支援、農業指導などにボランティアや、市民団体の参加の提案
- (2) 自然の関心を高める情報の発信(市内の樹木の情報提供など)
- (3) 緑保全基金のための募金活動

#### ⑤ その他

- (1) 今度の見直し伴う実績の検証
- (2) 基本計画の理念、計画の踏襲
- (3) 里山の保全のため農業の継続
- (4) 景観法に基づく施策の展開への期待
- (5) 緑の基本計画実現に伴う市民犠牲の軽減
- (6) 地区レベルでの住民参加

表2-4 市民意見の主要な要望

平成17年3月「鎌倉市の緑行政に対する意見等」より

## 2) 台峯緑地に対する市民の要望・意見

平成17年4月1日号の「広報かまくら」により募集し、提出された台峯緑地に対する39件の要望や意見等を集約する。

全体的な意見の傾向としては、「できる限りそのまま（48%）」が最も多く、「完全保全（8%）」を含めると約半数がそのままの保全を望んでいる。また、「散策路や標識など最小限の整備にとどめる」（36%）を望む意見が全体の1/3であり、自然環境の保全を望む意見が大多数である。

より詳細な市民意見としては、整備方針についての意見が最も多くの意見が寄せられ「自然環境を現状のまま保全する」「動植物の生息場所を保全する」など台峯緑地の自然環境をそのまま保全していくことを望む意見が大多数である。

これを受ける形で施設整備についての意見は「立ち入り禁止区域を設ける」等自然環境の保護・保全を前提とし、最小限の整備にとどめる事が望まれている。

また、維持管理についての意見として「市民参画による維持管理」、「モニタリング調査」の実施など、整備後においても積極的な関わりを望む声が多く、問題点についての意見は「由比ガ浜関谷線の見直しが必要」等、自然環境に悪影響を与えるものへの関心も強い。

## 3) 台峯緑地における市民活動の現状

台峯緑地は市民の長年にわたる活動が保全につながった緑地であり、現在も活発な活動が行われ、多くの市民に台峯緑地の価値が評価され、緑地保全に対しトラスト基金を寄付するなどの活動が繰り返し行われており、台峯緑地で行われている主な市民活動内容は以下の通りである。

- 台峯緑地の紹介
  - ホームページの作成管理運営
  - パンフレット、機関紙等の発行、配布
- 台峯緑地保全の呼びかけ、行政への提言
- 台峯全面保全に向けた法的手法による活動及び関連する作業
- トラスト基金
  - 基金の呼びかけ、管理運営
- 自然観察会等の企画運営、環境学習の提供
  - 定期的な自然観察ツアーの企画運営
- 緑地の手入れ
  - 定期的な山や赤道の手入れ活動を企画運営
- 他の環境活動団体との連携
  - 市内外の活動団体との交流、情報交換

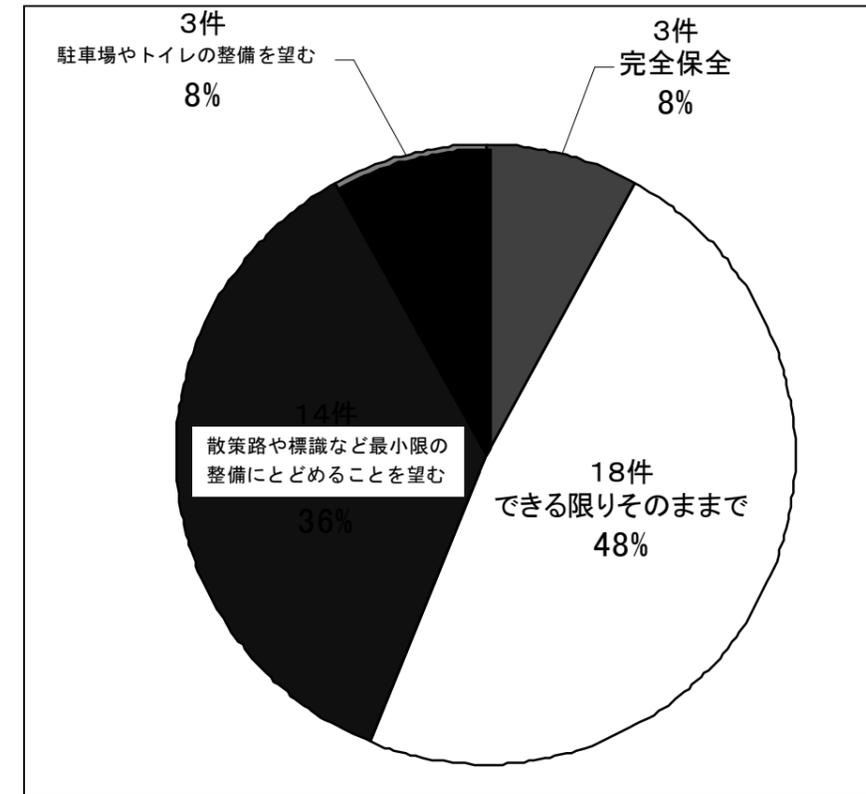


表2-5 市民意見内容の分類

平成17年4月1日号「広報かまくら」

“山崎「台峯緑地」公園構想策定に対する意見募集”まとめより